

商学研究科推薦入試概要

募集総定員 80名(他入試も含む)

入試科目 口述試験

入学検定料 25,000円

※日程等の詳細は入学試験要項でご確認ください。

学費・奨学金

1年次学費

680,500円

※2025年4月入学者学費
※5年一貫修了制度適用者が1年で修了した場合は、1年次学費のみとなります。
※内部進学者は、入学金が免除されます。

内訳	
授業料	670,000円
演習料	2,000円
学会費	2,000円
学友会入会金	1,000円
学友会費	2,500円
学生健康増進互助会費	3,000円

奨学金

推薦入試によって商学部から商学研究科に内部進学する学生を対象とした、給付型の奨学金があります。

奨学金名	選考基準	年額	採用数
寺尾巖奨学金	推薦入試最優秀合格者	30万円	1名
商学部寄附講座大学院進学奨学金	成績などにより判断	20万円	25名
大隈記念奨学金	成績により判断	40万円	若干名
小野梓記念奨学金	成績などにより判断	40万円	若干名
小川洌奨学金	成績などにより判断	20万円	1名

学費シミュレーション

通常の2年間の修士課程

1,660,000円

5年一貫修了

680,500円

通常2年間の学費に比べて **−979,500円**

5年一貫修了

(大学院進学奨学金取得時)

480,500円

−200,000円

通常2年間の学費に比べて **−1,179,500円**

[推薦入試の出願をサポートしています]

推薦入試出願には推薦状の提出が必須となります。「ゼミに所属していない」「専門とする分野を変えたい」などの理由で推薦状についてお困りの方は、事務所までご相談ください。

なお、出願にあたっては、ゼミの所属有無により、出願の時期等、条件が異なりますのでご注意ください(詳細は商学研究科Webページをご参照ください)。

サポート内容	推薦入試出願に関する相談を受け付け、教員との面談をサポートします。(推薦状は教員面談の結果を踏まえて作成します)
出願までの流れ	①相談期間内に推薦状手配に関して事務所に相談 ②教員面談 ③出願
必要書類	GPA証明書、志望理由書、研究計画書

お問い合わせ

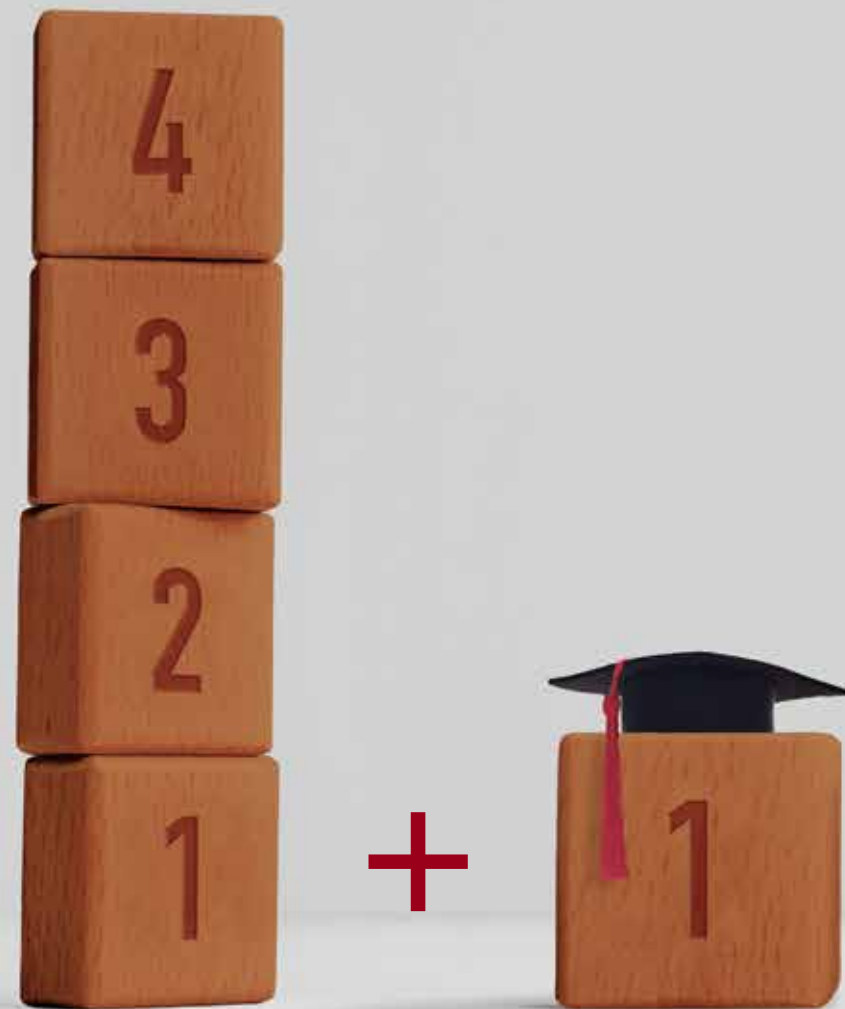
gsc-ad@list.waseda.jp

11号館3階事務所でも随時ご相談を受け付けています。

学部・修士5年一貫修了制度

早稲田大学商学部・商学研究科

学部4年+1年で
修士学位が
取れる。



プラス1年で、 自分の未来を大きく動かす。

学部4年プラス1年で、学びを深め、自分を磨き、修士学位を取得。

混迷の時代にこそ、可能性を広げる未来の翼を持ち、

グローバルに活躍できる高度専門職業人を目指しませんか。

早稲田大学商学部には、学部・修士5年一貫修了制度という選択肢があります。



ここがpoint!

point

1

5年間で修士学位が取れる。

所定の要件を満たせば、学部4年間と修士1年間の「合計5年間」で修士号の学位を取得できます。

point

2

まだ見えない価値の発見。

学部から大学院にかけての継続的な学習と研究によって、研究スキルを高め、専門分野をさらに深く追究することができます。

point

3

留学と修士学位の 両方を実現。

留学＝延長生(5年生)ではなく、5年間の学生生活で
留学と修士学位の両方を実現できます。

プレゼン力が磨かれる。

さまざまな研究発表の場を通じ、論理的で説得力のある
プレゼンテーションスキルを身につけることができます。

充実した奨学金サポート。

商学部からの推薦入学者には、大学院進学奨学金
(学部在籍時支給)を用意。大学院にも各種奨学金が
あり、学位取得を力強くサポートしています。

5年一貫修了制度を受けるには

成績

学部2、3年次までの
GPAが2.6～2.7以上

学部在学中の成績が①または②のいずれかを満たすこと。
①6セメスター終了時点で、GPA2.60以上(上位25%相当)
②4セメスター終了時点で、GPA2.70以上(上位20%相当)
※②は5セメスター目以降で2セメスター以上の留学を予定する者
(休学としての留学を除く)

単位

学部4年次に
大学院科目を先取り履修

7セメスター以降に、大学院科目を先取り履修し
10単位以上を修得すること。
※本制度適用者は、大学院入学後16単位まで単位認定可能。
学部在学中は自由科目扱いとなる。

入試

推薦入学で
大学院に合格

大学院入試を推薦入試で合格すること(出願時点でGPA2.50以上が必要)。出願時に、修士課程における指導教員承認済みの「早期修了希望届」を提出すること。

大学院進学後の条件

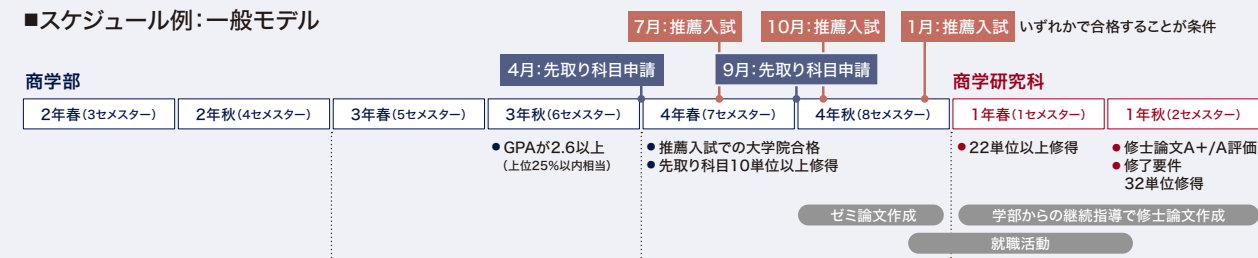
- ✓ 1セメスター終了時点で、修了要件単位数**22単位以上**を修得
- ✓ 2セメスター終了時点で、修了要件単位数**32単位以上**を修得
- ✓ 研究指導に合格し、修士論文評価がA+またはAであること

必要単位数は通常2年間の修士課程と同様

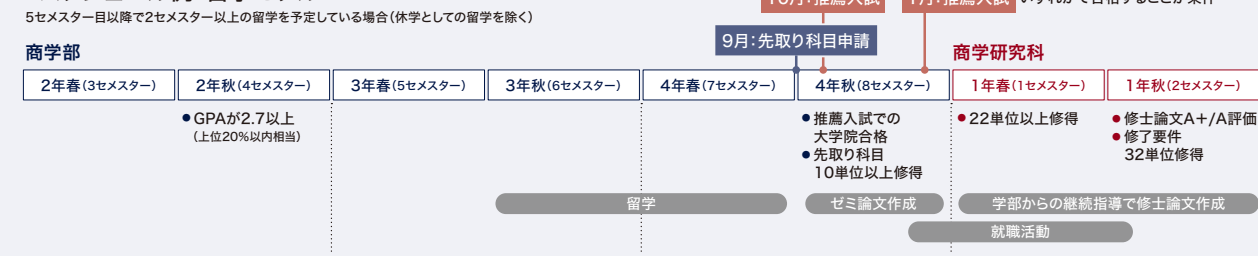
修士課程修了に必要な単位数は32単位です(2年間の修士課程と同様)。そのため、学部4年次に先取りした単位数(10単位以上)を含め、修士1年第1セメスターまでに22単位以上を修得する必要があります。

学部4年	修士1年第1セメスター	修士1年第2セメスター
先取り 10 単位以上	計 22 単位以上	計 32 単位

■スケジュール例：一般モデル



■スケジュール例：留学モデル



※出願にあたっては、ゼミ所属有無により出願時期等の条件が異なります。

高度なビジネスフィールドへ [近年の主な就職先]

学術研究、専門・技術サービス業

○アクセンチュア
○EY新日本有限責任監査法人
○デロイト トーマツ コンサルティング
○シグマクシス
○PwC Japanグループ
○有限責任監査法人トーマツ

情報通信業

○IBM
○Bloomberg
○Kyndryl
○DXCテクノロジー
○NTTデータ グローバルソリューションズ

製造業

○シャープ
○東芝産業機器システム
○富士通
○パナソニックインダストリー

金融・保険業

○野村證券
○三井住友海上火災保険
○りそなアセットマネジメント
○日本マスタートラスト信託銀行
○日本取引所グループ
○三菱UFJニコス

サービス業

○アマゾンジャパン
○Alibaba
○博報堂
○Hakuhodo DY ONE
○ポケモンセンター

商社・卸売・小売業

○三井物産
○昭光通商
○三菱商事プラスチック

運輸業

○日本郵船
○商船三井
○中国国際航空
○厦門航空有限公司

公務員

○中国地方政府公務員

その他

○電源開発
○JERA